

目次

耳かけ型 EO
リサウンド・エンツオ™

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 0120-921-310
一般のお客様電話番号 0120-921-102
FAX番号 0120-636-392
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MMパークビル8F
認証番号 226AABZX00186000
KTG0829 EO 02 1809E-1809600 ReSound GN

はじめに

この度はリサウンド補聴器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書では当補聴器の操作手順、機能、故障が疑われる場合の原因と対策などについて説明しています。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は保証書と一緒に大切に保管してください。

この取扱説明書では、以下の器種について説明しています。

EO598-DW

安全上のご注意（必ずお守りください）

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容を良く理解してから本文をお読みください。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。



警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し説明しています。



禁止 この表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

【禁忌・禁止】

1. 次の場合、補聴器を使用しないでください

- 耳を治療中の場合
- 耳の中に痛みがある場合
- 先天的または外傷による明らかな耳の変形がある場合
- 過去90日以内に耳漏を生じた経験がある場合
- 過去90日以内に急激または急速な難聴の進行を生じた経験のある場合
- 急性または慢性のめまいがある場合
- 耳あか、または異物の集積が明らかな場合

2. 次の場合、補聴器を使用する前、あるいは使用を中止して、耳鼻咽喉科医師の診察を受けてください。

- 耳漏が生じたとき
- 耳の治療が必要になったとき
- 耳の間えが急に悪くなったと思えるとき

【併用禁忌】

病院などで治療や検査を受けるときの注意

- 治療や検査が補聴器に悪影響を与える場合があります。係りの人に補聴器をはずすかどうかお尋ねください。
- MRIの検査のときは補聴器を検査室に持ち込まないでください。事故や故障の原因になります。

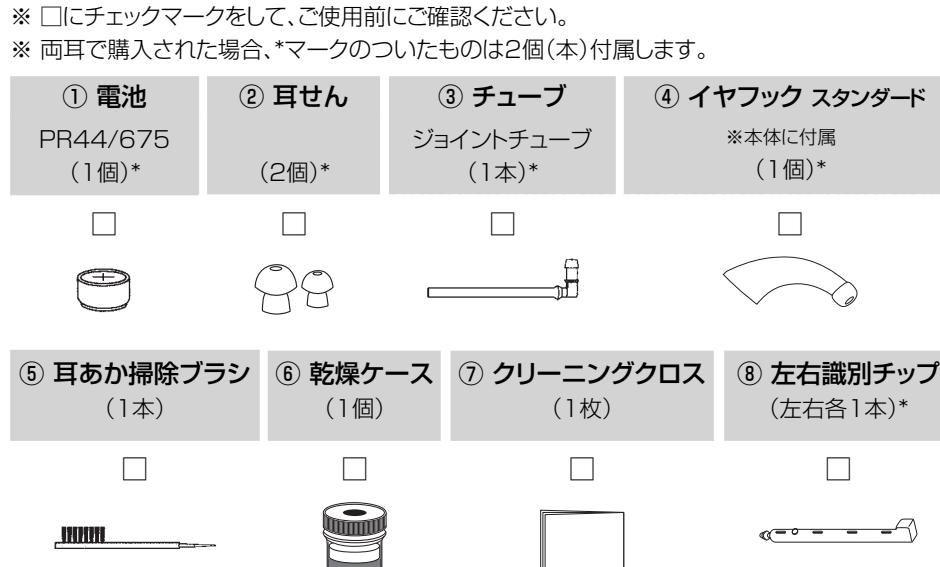
1 製品概要

1-1. 各部の名称と役割



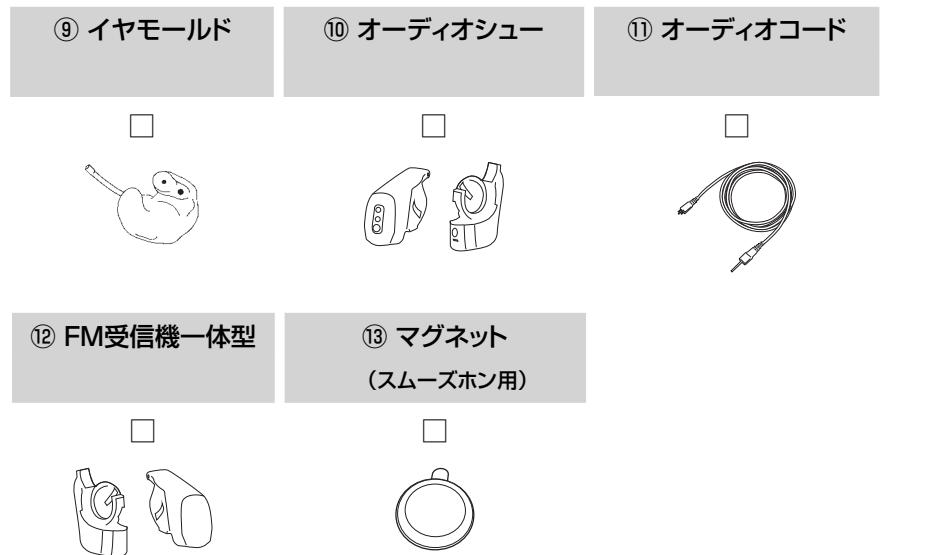
- | | | | |
|--------------|-----------------------|---------------|-------------------------------|
| ① 音の入口 | 音声を集めるためのマイク | ⑤ ポリュームコントロール | 音量の調節を行う |
| ② 音の出口 | 本体内部で増幅された音声を外耳道に導く | ⑥ 外部入力端子 | オーディオシューを接続する端子 |
| ③ 電池ケース | 電池を収納する | ⑦ チャイルドロック | 乳幼児が電池ケースを開けて電池を飲み込んでしまうことを防止 |
| ④ プログラム選択ボタン | プログラムを切り替える(選択する)際に使用 | | |

1-2. 付属品一覧（携帯用ケースを除く）



※ 青が左用、赤が右用になります。

○ オプション(別売)



2 基本的な使い方

2-1. 電源の入れ方／切り方

電源の入／切は電池ケースで行います。電池ケースを完全に閉じると電源が入り、開けると電源が切れます。



- 電源投入時の設定
- 「プログラム1」
 - 初期設定の音量

※ 電池の消耗を防ぐために電源の切り忘れにご注意ください。

■ チャイルドロック

乳幼児が電池ケースを開けて電池を飲み込んでしまうことを防止する機能です。設定をすると、電源を切ることはできますが電池を交換することはできません。



■ 設定・解除方法

■ フライトモードの設定方法

- ① 電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。

- ② もう一度電池ケースを閉じ、10秒以内に開けてください。

- ③ もう一度電池ケースを開いてください。「ボーン、ボーン、ボーン…」というお知らせ音が鳴ると設定完了です。

■ フライトモードの解除方法

- ① ボーンというお知らせ音が鳴り終わってから、10秒以上待ってください。

- ② 電池ケースを一度開け、閉めてください。

- ③ 「ボーン」というお知らせ音が鳴る場合は、①からもう一度行ってください。

2-2. 電池寿命お知らせ機能

補聴器を耳に装用する際に不快なハウリング(ピーピー音)を防ぐ為の機能です。この機能をオンにすると、電源を入れてもすぐには音声が入りらず、代わりにお知らせ音(ボーン、ボーン、ボーン….)が鳴ります。

販売店で設定可能 10秒／5秒／オフ

■ ワイヤレスアクセサリー(オプション)使用時

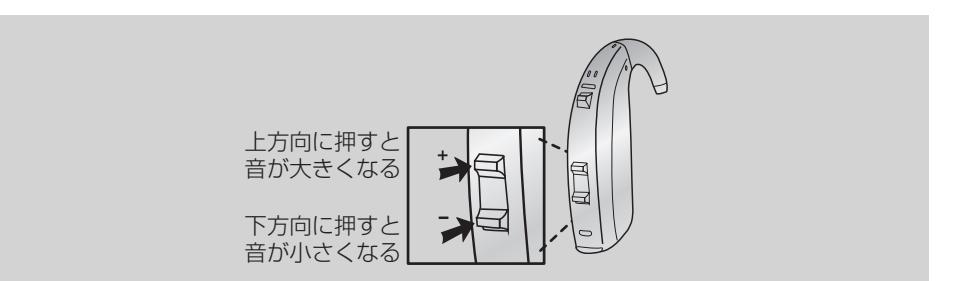
ワイヤレスアクセサリー使用時は、補聴器のみの使用時よりも補聴器の電池消費量が大きくなります。補聴器が使用できなくなる前に、電子音が鳴りワイヤレスアクセサリーが使えなくなります。新しい電池に交換すると、ワイヤレスアクセサリーは再び使用できます。

電池残量	お知らせ音	補聴器	リモコンユナイトII	TVユナイトII、携帯ユナイトII、マルチマイク、マイクロマイク、iPhone、iPad、iPod touch
■ (多)	—	○	○	○
■ (少)	♪♪♪	○	○	×
■ (極少)	♪♪♪♪♪♪♪♪	×	×	×

2-3. 音量調節

■ 音量調節

本補聴器は、必要に応じてお客様自身が音量を手動で調節することができます。



- 上方向に押すと
音が大きくなる
下方向に押すと
音が小さくなる

※ ボリュームコントロールを押すと「ピッピッ」というお知らせ音が鳴ります。上限あるいは下限に達すると「ボー」という音に変わります。

※ 電源を切ると、変更した音量は戻ります。

販売店で設定可能 オン／オフ

両耳連動機能使用時

片耳の補聴器の音量を変更するともう片方の補聴器の音量も自動的に変更します。

2-4. プログラム変更

お客様一人ひとりのきこえや使用環境に合わせて最大で4つのプログラムを設定することができます。プログラム選択ボタンを押すたびにプログラムが切り替わり、お知らせ音の回数でプログラム番号をお知らせします。

販売店で設定可能

プログラム	お知らせ音	内容・使用環境
プログラム1	ボーン	
プログラム2	ボーン、ボーン	
プログラム3	ボーン、ボーン、ボーン	
プログラム4	ボーン、ボーン、ボーン、ボーン	

電源投入時の設定

- 「プログラム1」

両耳連動機能使用時 販売店で設定可能 オン／オフ
片耳の補聴器のプログラムを変更するともう片方の補聴器のプログラムも自動的に変更します。

■ フライトモード(ワイヤレス機能使用時)

搭乗中に電波の使用を禁じられている飛行機内や、無線送信および電波を発する機器の使用が禁止されている場所では、補聴器をフライトモードに設定してワイヤレス機能をオフにしてください。

マグネットの取り付け方

① 受話口周辺を清潔な状態にしてください。



マグネットからホイルを取り外してください。

② 受話口のすぐ下に貼ってください。必要であればマグネットの位置をずらして調整してください。



③ マグネットの位置を調整してください。



△ 警告

- (1) スマーズホン用のマグネットは医療機器や電子装置へ影響を与える可能性があります。詳細はお使いの医療機器、電子装置の取扱説明書をご参照ください。記載がない場合は、30cm以上離してお使いいただく事を推奨します。
- (2) スマーズホンプログラムに切り替わらない場合は、マグネットが受話口に対して最適な位置にない可能性があります。その場合は、マグネットを受話器の他の場所に動かしてください。
- (3) 必ずリサウンドのスマーズホン用のマグネットをご使用ください。

2-8. テレコイル

本補聴器には、テレコイルが内蔵されています。テレコイルは、教室、公共施設、家庭内などのループシステムのある場所で、他の音に阻害されることなく必要な音を聴取するときに使用します。
また、強い誘導信号を出力するコイルを内蔵した受話器であれば、電話でお使いいただけます。テレコイルの詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

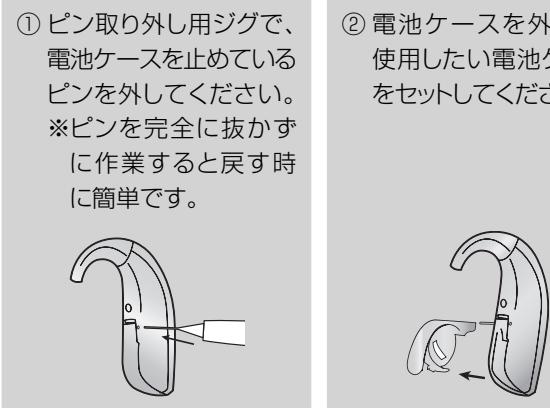
販売店で設定必要 専用プログラム

2-9. 外部入力（オプション）

外部入力により、テレビ、ラジオなどからの音をより良い音質で直接聞くことが可能です。オーディオシュー、FM受信機一体型を補聴器に取り付け、ケーブルもしくはワイヤレスFMシステムで音源に接続すると自動的に外部入力に切り替わります。

販売店で設定必要 専用プログラム

電池ケースの交換方法



* ピン取り外し用ジグは、この用途以外には使用しないでください。

* 本装置に接続される機器は、IECまたはISO規格に適合したものをご使用ください。

販売店で交換可能



△ 注意

- 1つのFMチャンネルで2つ以上の送信機を使わないでください。
- オーディオシュー、FM受信機一体型のお手入れに、水や液体を使用しないでください。
- 電波を出すことを禁じられているエリアでは、FM送信機を使わないでください。
- FM電波は、他の受信機に受信される可能性があります。
- 外国でFMシステムを利用する際には、その国でそのチャンネルの使用が許可されている事前にお買い求めの販売店にご確認ください。

(6) FM受信機一体型FM送信機の修理は、認定されたサービスセンターでのみ可能です。

2-10. ワイヤレスアクセサリー

リサウンドのワイヤレスアクセサリーは、高音質のステレオ音声で補聴器へのダイレクト送信が可能です。

下記のワイヤレスアクセサリーがあります。

TVユナイトII：テレビやその他のオーディオ機器からの音声を、あなたに合った音量で補聴器にダイレクト送信します。

リモコンユナイトII：補聴器の音量調節や消音、プログラム変更などができる、すべての設定を一目で見ることができます。

携帯ユナイトII：通話や音声を両耳の補聴器にダイレクト送信するとともに、シンプルなリモコンとしても機能します。

マイクロマイク：話し相手の胸元に身に付ければ、騒がしい環境で離れてでも相手の声が聞き取りやすくなる補聴器用マイクです。

マルチマイク：マイクロマイクの機能に加えて、テーブルマイクとしても機能します。FMシステム、テレコイル、ライン入力にも対応しています。

詳しく知りたい場合はお買い求めの販売店にお尋ねください。

* リサウンドのワイヤレスアクセサリーはリサウンドのワイヤレス補聴器とのみご使用ください。

* ペアリング等のより詳しい使い方はワイヤレスアクセサリーの取扱説明書をご覧ください。

3 使用上の注意

補聴器はきこえを助ける医療機器です。ここに示した警告や注意事項は補聴器を正しく使っていただき、装用者ご本人や他の人の危害や損害を未然に防止するためのものです。以下の項目をお読みになり、取扱いにご注意ください。

△ 警告

- 子様が触れないようご注意ください。
飲み込むと窒息の危険を伴う小さなパーツを含んでいるので、幼児の手に触れさせないようお願いします。
- 飛行機に搭乗する際には、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。
- 電波を出すことを禁じられているエリアでは、フライトモードを使ってワイヤレス機能をオフにしてください。
- リサウンドの補聴器を補聴器用ワイヤレスアクセサリーと接続する際には、必ずリサウンドの補聴器用の機器（有料オプション品）をご使用ください。

△ 警告

- フィッティングを行う専門家の方への警告：この補聴器は13dB SPL以上の出力があります。フィッティングの際には充分注意してください。

△ 注意

- 衝撃・熱を避けてください。
補聴器に強い衝撃をあたえたり、落としたらいしでください。また、直射日光の強いところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの上面など、高温となる場所での使用・放置はしないでください。

- ワイヤレス機能及び機器の使用に際して電磁波障害が起こった場合には、その原因となるものから遠ざけてください。

○ 禁止

- 補聴器を水に濡らさないでください。
補聴器を装用したまま泳いだり、お風呂に入ったり、洗顔などしないでください。

- 補聴器を分解したり、ご自分で修理・改造などを絶対になさらないでください。

- 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを絶対に使わないでください。

- 補聴器を装用しても良く聞き取れない音もあります。
小さな音、遠くの音や周囲の雑音が大きい環境下での音声は十分に聞き取れないこともあります。このような場合は音源に近づかず、またはお買い求めの販売店にご相談ください。

- 補聴器を他人にお貸しにならないでください。
補聴器は使用者本人以外絶対ご使用にならないでください。他の人がこの補聴器を装用しても音量や音質が合わず聞こえにくいくらいでなく、耳を痛める場合があります。

- 病院内の検査機器にご注意ください。

- ハウリング（ピーピー音）にご注意ください。
耳せんがきちんと収まっていない場合や、抜けかけた隙間ができた場合などには特にハウリングが起こりやすく、装用者に不快感を与えるばかりでなく、周囲の人にも迷惑をかけることがあります。自分でハウリング音を確認できない場合は、ご家族など周囲の人にもきてもらいや、補聴器を正しく入れ直してください。

- 補聴器を装用して炎症が生じたら…

- この補聴器の皮膚に接する部分には、かぶれや炎症などを起こしにくい材料を使用していますが、装用者の体质によっては、まれにかぶれや湿疹などを生じることがあります。このようなときは、ただちに補聴器の装用を中止し、医師へご相談ください。

- 低周波治療器電磁（IH）調理器などによって補聴器に雜音が発生することがあります。

- <使用済補聴器の処理方法>

- 「使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律」の「使用済み小型電子機器等の回収に係るガイドライン」で補聴器は特定対象品目に指定されました。ご不用になった補聴器は、お住まいの市町村の指示に従って処理してください。

2.4 FH 1
2.400 2.427 2.470.75 2.483.5 MHz

この補聴器の無線機能は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、干渉距離は10mです。

△ 注意

- ご不用になった付属品は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

- ワイヤレス機能がオンになっているとき、ワイヤレス機器と通信するため、デジタル符号化された低出力伝送が使われます。そのため、ワイヤレス機器を使用しているときに近くの電子機器に影響を与える可能性があります。万が一機器への影響が認められた場合は、補聴器を遠ざけてください。

△ 注意

- 石油ヒーター、ガスヒーターなどの暖房器具から発生する二酸化炭素により電解液が劣化することがあります。電池寿命が短くなるので、火気を用いる暖房器具を使用する場合は、換気を十分に行ってください。

- 使用済みの電池は、お住まいの市町村の指示に従って廃棄してください。

5 故障かな?と思ったら

症 状	原 因	対 策
音がきこえない／音の大きさが不十分	電源が入っていない。 電池が消耗している。 音の出口が詰まっている。 チューブが詰まっている。 耳せんとチューブが正しく装着されていない。 装用者の耳に過度の耳あかが詰まっている。 設定音量が小さい。	電池ケースを閉じる。 電池を新しい物に交換する。 音の出口を掃除して詰まりをとる。 チューブを新しい物と交換する／掃除する。 注意して装着し直す。 医師に相談する。 可能であれば音量を上げる、または販売店に相談する。
ハウリング（ピーピー音）がする	チューブがゆるんでいる。 耳せんとチューブが正しく耳に入っていない。 補聴器の設定が合っていない。	チューブを交換する。 注意して入れ直す。 販売店に相談する。
音が不明瞭、音が歪む	電池が切れかかっている。 プログラムの設定が合っていない。	電池を新しい物に交換する。 販売店に相談する。
ワイヤレス機能が使えない	ライトモードに入っている。 電池が消耗している。	ライトモードを解除する。 電池を新しい物に交換する。

* 対策をしても解決しない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

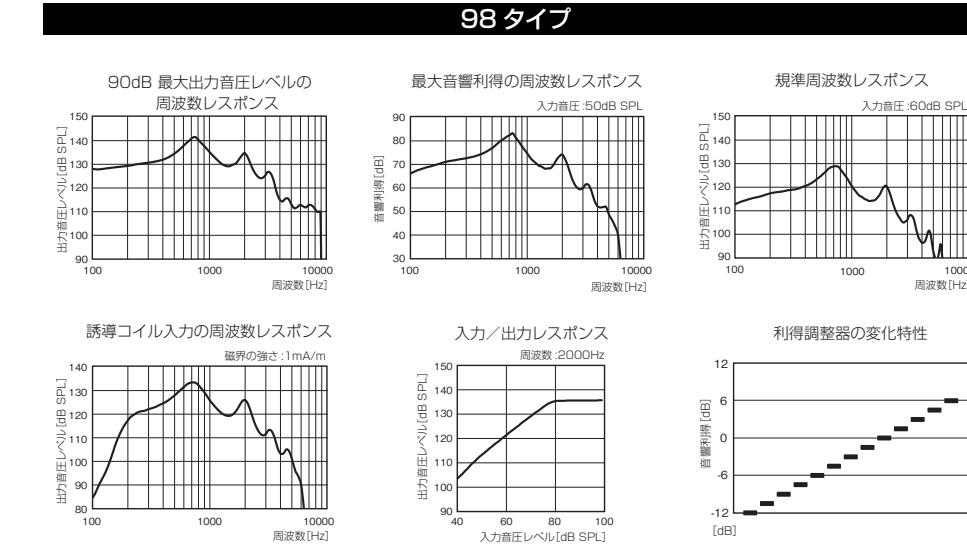
6 性能表 2cm³ カプラ 測定規格：JIS C 5512:2015

性能表	表示 単位	E0598-DW
90dB入力最大出力	HFA-OSPL90	±4dB SPL
音圧レベル	ピーク	+3dB SPL以下
最大音響利得	HFA-FOG	±5dB
	ピーク	+3dB以下
等価入力雑音レベル		+3dB SPL以下
500Hz	+3%以下	26
800Hz	+3%以下	4
1600Hz	+3%以下	0.7
電池の電流		0.9
電池サイズ		+20%mA以下
電池寿命		PR44
規格周波数レスポンス	時間	195
規格利得(RTG)	Hz	100 - 5860
	dB	54
試験用ループに対する等価感度	±4dB SPL	2
誘導コイル入力の最大感度レベル	HFA-MASL	±6dB SPL
定常状態入出力特性	500Hz入力	±5dB SPL (70dBで正規化)
	90dB入力	±5dB SPL (70dBで正規化)
最大感度となる方向		垂直
使用目的、又は効果		身体に装着して、難聴者が音を増幅して聞くことを可能とすること。ただし、気導式のものに限る。
使用時の環境条件		温度:0~40°C、湿度:40°C/93%以下、気圧:500~1100hpa
電擊保護		内部電源機器 B形装着
輸送保管条件		温度:-20~60°C、湿度:90%RH以下(結露なきこと)、気圧:500~1100hpa

* ワイヤレス機能使用時は電池寿命が短くなります。

* 数値は参考値です。

7 音響諸特性 2cm³ カプラ 測定規格：JIS C 5512:2015



8 アフターサービス

保証書（別添付）

お買い上げ日、販売店名などの記入を必ず確かめになり、大切に保管してください。保証適用時には、保証書が必要となります。

修理について

・ 保証期間中

保証書を添えてお買い求めの販売店へお持ちください。保証書の規定に従って、修理いたします。修理により使用可能な場合は、ご希望により有料で修理いたします。

・ 保証期間後

お買い求めの販売店にご相談ください。修理による費用は有料となります。

※ 仕様について

改良のため仕様、付属品は予告なく変更される場合があります。

※ 商標登録について

Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

「Made for Apple」バッジは、iPhone、iPad、iPod touchに接続するよう設計され、Appleが定める性能基準を満たしているとディベロッパーによって認定された電子アクセサリであることを示します。Appleは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

※ ©2018 GNヒアリングジャパン株式会社 無断複写転載禁止。Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。iPhone商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。AndroidはGoogle Inc.の登録商標です。BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の登録商標です。

耳かけ型補聴器 簡単ガイド

取扱説明書

製造販売元
GNヒアリングジャパン株式会社
販売店様専用電話番号 0120-921-310
一般のお客様電話番号 0120-921-102
FAX番号 0120-636-392

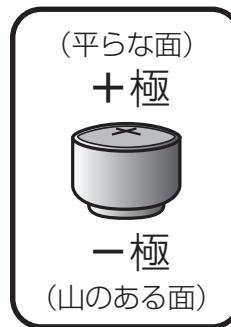
受付：月曜～金曜 午前9時～午後5時30分
(土日祝日、年末年始は休み)
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい3-6-3MM/パークビル8F

KTG0671 02 1807B-180710K

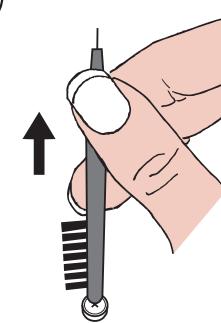
ReSound GN

電池の入れ方・出し方

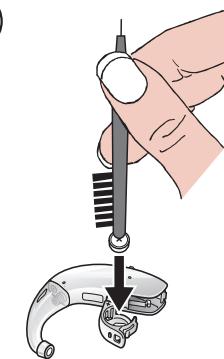
①



②



③



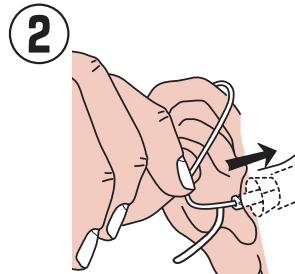
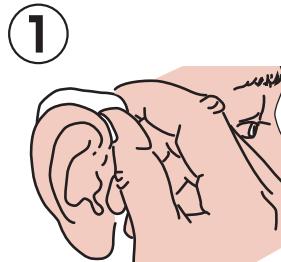
電池のテープをはがして、1分程度経過してからご使用ください。

耳あか掃除ブラシ先端の磁石に+マークのついている面をつけ、そっと持ち上げてください。

補聴器の電池ケースにまっすぐ入れてください。耳あか掃除ブラシを横にスライドさせ、電池から引き離してください。

補聴器の着け方・外し方

耳せんの場合



電源を入れ、補聴器を耳の上にかけます。
耳せんを耳の中に、しっかりと入れてください。

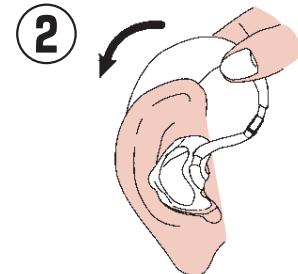


ミニチューブご使用の場合
スポーツロックを耳たぶ上側のくぼんだところに這わせてください。

イヤモールドの場合



イヤモールドを指先で軽く持ち、矢印の方向へ回しながら、ゆっくりと耳の中へ押し込んでいきます。



補聴器を耳の後ろに乗せます。

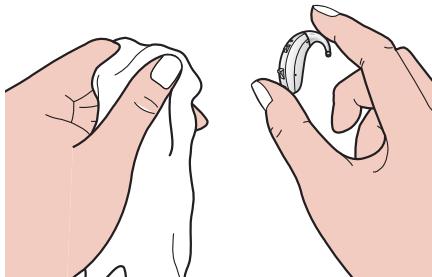
外し方 親指と人差し指でチューブをつまみ、真横に引き出してください。

外し方 補聴器を着ける時とは反対の方向に回しながら引き出し、補聴器とイヤモールドをつないでいるチューブをつまみ、静かに耳から外してください。

日ごろのお手入れ

①毎日のお手入れ

ご使用後は、付属の耳あか掃除ブラシで耳あかを取り除き、クリーニングクロス又はティッシュペーパーなどで油分や湿気を拭き取ってください。耳せん・イヤモールドの掃除は、耳あかが補聴器本体に入りこまないように音の出口を下にして行ってください。

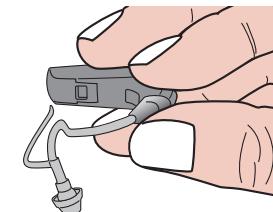


②耳せんの交換

耳せんは3ヶ月に1度程度は交換が必要です。耳せんはお買い上げの販売店で交換されることをお勧めいたします。

③チューブと耳せんまたはイヤモールドの掃除

耳あか掃除ブラシややわらかい布を使って、汚れや耳あかを取り除いてください。取り除けない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。

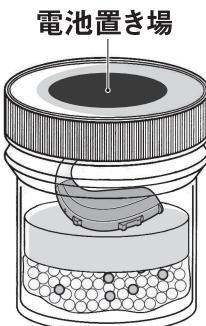


※ チューブ内に水滴が残る危険があるため、洗わないでください。水滴が残ってしまうと音声の伝わりが妨げられたり、補聴器の電子部品に悪影響を与える可能性があります。

※ 絶対にご自分でイヤモールドの形を変えないでください。

補聴器の保管について

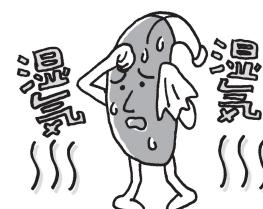
補聴器はいつも乾燥した状態にしておいてください。補聴器は汗や湿気に弱いため、装用後は必ず、乾燥ケースに一晩入れておいてください。この時、必ず電池を抜いてください。※電池を乾燥ケース内に入れると、電池寿命が極端に短くなる可能性があります。



●熱を避ける



●湿気を避ける



注意・禁止事項

注意

- (1) 乾燥剤を焼いたり、電子レンジで温めたりなどして、再利用しないでください。乾燥剤の色が変わったら新しいものと交換してください。
- (2) 亂暴な扱い方は補聴器の故障の原因となります。床など固い面に落とさないでください。

禁止

- (1) 補聴器を水や他の液体に浸すことは、故障の原因となりますので、絶対に避けてください。
- (2) シンナー、ベンジン、ベンゾールまたは濡れた布で拭くことは避けください。
- (3) 補聴器を乾燥させる目的でヘアドライヤーや電子レンジなどを使わないでください。また、直射日光に長時間さらさないでください。外部変形及び外部変色、内部損傷や焼失の原因となります。